

議会報告会 会場報告書

担当班： 第1班 班代表者：原田 豊彦

概 要		
地区名 : 今田地区 日時 : 令和7年5月13日(火) 場所 : 今田まちづくりセンター 参加人数 : 10人(男8人・女2人)	(1)開会あいさつ : 原田 豊彦 (2)質疑応答 : - (3)意見・提言等 : - (4)閉会あいさつ : 安井 博幸	挨拶・総括 : 原田 豊彦 司会進行 : 本多 紀元 記録・受付 : 向井 千尋 前田えり子 安井 博幸 会場(マイク) : 野々村 康

【主な質疑】

質疑・意見(第一部 議会報告について)	回 答
※第1部 議会報告に係る質疑・意見はなかった。	

議会報告会 会場報告書 2部 『 地域の未来を担う人 育て守るためには 』

今田地区 1班 班代表者：原田 豊彦

A 参加者からの意見や課題

- ・道の駅ができるが、農家が高齢化していて農産物を提供できるのか
- ・農家の担い手がない
- ・今田にはコンビニが無くなって買い物できる場所がない
- ・独り暮らしの高齢者の支援が必要
- ・多くの外国人が地域の事業所で働いている
- ・若者、女性、子育て世代がない
- ・実感できる子育て支援の不足
- ・今田こども園の整備はよかった
- ・自治会に対する支援は金銭よりも情報提供やノウハウの指導が欲しい

- ・郷土愛を育て、郷土に誇りを持つような施策が不足している
- ・地元民と移住者の感性等にギャップがある
- ・移住者には住民税の免除を
- ・宝島社が発表した「住みよい田舎ランキング」にランク入りした理由を市民と共有してほしい
- ・市は日本遺産やユネスコ創造都市など文化に力を入れているが、生活や経済があつてこそその文化で、経済基盤の構築が重要
- ・老人には住みやすいまちだ
- ・子ども達のあいさつは元気で素晴らしい
- ・市の職員さんは忙しすぎるように見える

B 参加者からの対策や解決するために必要なこと

- ・道の駅内にコンビニ的な場所設け、地元の高齢者等も買い物できるようにしてほしい。施設内には高低差があり、バリアフリー化も必要だ
- ・小規模農業者や新規就農者への支援を強化すべき
- ・移住の推進や地域内の交流促進
- ・親世代の地元企業に対する考え方を変えないといけない
- ・市職員の働き方改革の推進

- ・学校や地域で郷土愛を育む
- ・子育て支援の充実
- ・JRの丹波路快速をもっと便利にして都市部へのアクセス改善を
- ・田舎ならではの自動運転などを導入し、交通弱者対策を
- ・開放的な自治会運営

【考察】参加者の意見から見えてくるもの

- ・地域の担い手を育てるには、郷土愛を育むことが必要であり、学校と地域での教育の充実が重要。結果、他市との差別化も図れる。
- ・JR福知山線の利便性を高め都市部へのアクセスを改善する。また、田舎ならではの交通弱者対策として自動運転システムなどを導入する。
- ・自治会のルール（規則）の透明化を図り、移住者や異世代住民の交流を促進する。
- ・「道の駅」整備に関しては、所期（本来）の目的に加えて地元の期待が大きいことが分かった。地域住民の付託にも応え得る計画策定が必要だ。
- ・今田こども園整備は地域で評価されている。今後更に、若者や子育て世代が住みやすくするための支援が望まれているので政策立案していきたい。
- ・日本遺産やユネスコ創造都市など、市政は文化に力を入れていると感じられている。市民の安定した経済基盤の構築にも注力していることや、文化事業との相乗効果などを市民に伝えるべき。
- ・行政（市）に対しては、財政的な支援よりも、職員が地域に入り込んでもらう伴走型の支援を望んでいる。「参画と協働」のあり方を検討すべき。